

'70

# 会報



THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA

## 鶴岡ロータリー

第 570 号

1970.9.22 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

会報はご家族みんなで読みましょう

### 四つのテスト

——言行はこれに照してから——

1. 真実か、どうか  
is it the truth?
2. みんなに公平か  
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか  
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか  
will it be beneficial to all concerned?

### 「隔りを取除こう。」

#### 出席報告

本日の出席	会 員 数	63名
	出 席 数	35名
	出 席 率	57.14%

欠 席 者 阿宗君、阿部(襄)君、荒明君、張君、石黒君、長谷川(悦)君、早坂(徳)君、平田(圭)君、五十嵐(一)君、伊藤君、粕川君、加藤君、黒谷君、小花君、今間君、嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、中山君、小野寺君、齋藤(信)君、新穂君、笹原君、谷口君、佐々木君、辻君、藪田君

前回の出席	前回出席率	71.88%
	修正出席数	55名
	確定出席率	85.94%

マークアップ 五十嵐(伊)君一釜石 RC  
伊藤(貞)君、三井(賢)君  
一酒田東 RC  
長谷川(悦)君、五十嵐(一)君  
嶺岸君、男網君、廖君、富樫君一鶴岡西 RC

スマイル 男網末松君、地方産業会のリーダーとして市長表彰を受けたため。

#### 会長報告

今日のスケジュールを申し上げます。この一週間当クラブの例会が祭日にあたり休となり、のんびり出来ると思ったのですが、13日に酒田でインターシテフォーラムがあり、そのあと19日～21日と大館で地区の年次大会が催されて、それらに出席した会員からの報告が沢山あると思ひ、今日はスピーチなしにして、報告のスケジュールで行いたいと思ひます。

報告事項として、温海のチャーターナイトが決定いたしました。11月15日日曜であります。12時から13時までの登録、登録料その他詳細は不明ですが、近くのクラブでもありませんので、是非沢山の会員から参加していただく積りでありますが、欠席されましたので、以上報告だけいたします。

次に、9月20日田川地区高校中学生の英語弁論大会、これが南校の講堂で挙行されました。たまたま私達が館の年次大会に出席しておりましたので出席出来ず、阿部襄先生から出席していただきました。この模様も阿部襄先生がお出でになった折に説明していただきたいと思ひます。

9月13日、酒田のインターシテフォーラ

ムがありまして、当クラブから18名の出席をいただき、ありがとうございました。廖さん伊藤貞次さん、三浦倅三さん、鈴木弥一郎さん、谷口晴敏さん、鈴木善作さん、黒谷正夫さん、阿部襄さん、斎藤信義さん、三井賢二さん、佐藤昇さん、張紹淵さん、早坂源四郎さん、安藤定助さん、小花盛雄さん、三井徹さん、それに上野三郎さんと私（会長）の18名であります。そのときの協議の様子は、佐藤昇さんか、早坂さんより一寸報告をおねがいをしたいと思います。なお、次期のインターシテフォーラムが廻り番として、鶴岡クラブがホストクラブになって引受けてもらいたいという申出があり、私が引受けて参りました。私が引受けるについて、実施が来年度です。引受けるだけで、設営その他は、来年度の会長、幹事、理事の方が大変ご苦労のことと思いますが、よろしくおねがいします。

それから、9月の19、20、21日の3日間、大館で地区年次大会がありました。それにも会員から多数参加していただき有難うございました。地区年次大会の方には、張紹淵さん三井徹さん、安藤定助さん、高橋正太郎さん、笹原桂一さん、藪田誠樹さん、今野松弘さん、佐藤正さん、上野三郎さん、それに私（会長）以上10名参加しました。前の日にゴルフの大会がありまして、大会の様子は後刻高橋正太郎さんから報告していただきたいと思ひます。

年次大会の席上、うちのクラブで大へん表彰がありまして、ポールハリスヘエローが張さんが表彰をうけ、ロータリー財団の寄附の500%クラブとして、福島県の相馬ロータリークラブ、秋田ロータリークラブと、わが鶴岡クラブが表彰を受けて参りました。出席優秀クラブとしては、残念乍ら表彰されませんでしたけれども、会員の10年間皆出席の表彰がありまして、安藤定助さん、張紹淵さん、鈴木善作さん、海藤与蔵さんが表彰を受けました。（鈴木さん、海藤さんは年次大会不参加のため代理受与）鶴岡クラブは4名の会員の表彰なので、表彰費として1名5千円、計2万円を拠出していただきたいとの申入があり同事務局に2万円をおいて参りました。

#### 観善ゴルフ大会の様相 高橋正太郎君

前日のゴルフ大会の参加は、68名でありました。当クラブの笹原桂一君が11位でありま

す。そちらの大きいカップをいただいて参りました。それから、藪田君が12位でそちらのカップをいただいて参りました。因に、おとなりの中村太助さんが第1位で優勝いたしました。

#### フォーラムに出席して 早坂源四郎君

私がインターシテフォーラムに出席したので、その状況をご報告申し上げます。

テーマは、クラブ奉仕部門、社会奉仕部門職業奉仕部門、国際奉仕部門と別れておりまして、私は前日に事務局の方からクラブ奉仕部門のAを担当せよとのこと。それは出席率向上の方策のために、各クラブから意見をききたいというテーマであります。次は会報編集の上の種々の問題点或は名案があればきかせてほしいとのこと。私の担当は、出席率向上のためによい施策があったら勉強してくるようにとの指示でしたが、大した勉強もせず出席しました。

クラブ奉仕部門のモデレーターは、当クラブの三井徹先生でありました。モデレーターと云うのは、司会役であります。それで最初に新しく出来たクラブに対して、三井先生から出席の状況をきかれました。これらのクラブは、出席率が余り振わないが、あまりやかましくいろいろな問題を生ずるといふことをのべておられました。

それから、古いクラブ、酒田クラブ、新庄クラブからは、いろいろ出席奨励の施策について説明がありましたが、結果については皆様御承知の通り余り香しくない出席率であります。鶴岡クラブは一番最後の方にしゃべるように三井先生からお話がありましたので、私は鶴岡クラブとして出席率向上の施策について2、3お話ししたのでありますが、これはクラブの代表としての意見としてではなくクラブの会員個人として申し上げたのであります。その申し上げた概要を申し上げます。

私は当クラブの8月の出席状況を予め調べておきまして、8月は今日配られたガバナースレーターの最後に掲げてありますように、当クラブとしては比較的成績のよい86.72%でした。私はこれを分析して、8月には当クラブとして100%の出席率の会員が45名居りこれが70%を占め、75%出席者が11名で20%それからあとの10%の8名の方が50%を切っているのです。出来ればこれらの方が少くと

も75%台を保てば、当クラブの出席率は、平均出席率を上廻り、92~93%に行くことは確実であるということは述べました。

そこで、庄内地方のクラブの出席率が悪いのは、親の躰が悪いというのが私の結論であります。親の躰が悪いというのは、前提としてロータリークラブは出席しなければならぬということ、しっかり身につけなければならぬことであり、ロータリークラブとしてこれも一つのルールであるので、そういう意味において、クラブの在り方に反省すべき点があるのではないかと思うのであります。

今急に100%の出席といわれても、仲々難しいが、少くとも92~93%に行くのは可能であるということを分析的に申し上げます。シニアアクティブで永い間病氣の方は、当然出席率から除外出来るのであります。

まだ、8月号のロータリーの友に出ていた第360地区(名古屋の方)でR Iの本部から許しを得たという、シニアアクティブで、70才以上の方でシニアアクティブ5年以上の方は、出席は自由だということをガバナーにただしまして、そしてそれが可能ならば、当クラブも年配の方が大分おられるので、それを認めてほしいということを申し出でましたら、これに対するガバナーの回答は、ロータリーの友に書いてあるのは、R Iの本部からきた英文を誤訳したのだとのことでした。定款ではシニアアクティブで自由出席は会員になってから20年、それに満65才以上とのことで、それでは当クラブに自由出席の有資格者が出来ないうことになります。

ガバナーが言うには、ロータリーの友8月号に書いてあることは誤りであるということの訂正記事を10月号にのせるとのことでありました。このことは、全国のガバナーが集ったときにそういう話が出てきて、やはりこれはまちがいであるということが確認されたとのことです。私もそういうことをききますとなるほど、ロータリークラブの出席に関するルールというものは厳しいものだということ、それはルールの上に乗っているクラブですから、出席奨励委員長が先頭に立たれまして、やはり毎月のクラブの出席の内容を分析して、真にやむを得ぬ方は仕方ありませんが、出来るだけ出席率の向上につとめなければならぬことを感じた次第であります。

## フォーラムに出席して

佐藤丹 君

社会奉仕部門に出席して参りました。各クラブから、社会奉仕活動についていろいろ発表がありました。各クラブとも大体似たりよつたりの活動の様でありました。例えば、ゴミ箱の設置とか、カーブミラー、ガードレールの設置、花一杯運動といったようなものが多いようでした。

古いクラブは実績があって、その継続事業に重点をおいているというのが殆んどでした。私の方も今までやってきたロータリー傘とか、今までやってきたものを充実してやると報告してきました。特に変わったこともないので、一度以上報告いたします。

さて、駅に備付けてあるロータリー傘が2本しか残っていないので、前の委員長の五十嵐さんが準備しておられたロータリー傘20本を今日駅にとどけることにしております。

## 地区年次大会に出席して

会長

19日~21日挙行されました第353地区年次大会の大体の模様をお伝えいたします。なお詳細について、また協議事項などについては出席された会員からご報告をおねがいたします。

私共は、年次大会は他所事のように感じ、ホスト側では大変だろうという気持はいたしますが、何づれば、当クラブもホストになることがあるだろうと考える大変だという気持が身にしみて参りました。

予算をききますと、1,200万円位かかっているのだそうでありました。地区の方から会員1人当り地区大会のために1,800円、これは出している訳であります。この地区に大体3,000有余名いるので、約600万円が地区から出ていく。それから登録料が1人5,000円で1,000人登録されるとそれで500万円、それでもやはり足が出るのだそうであります。

私が大館クラブの大会委員長と恰度会う機会がありまして、大体どの位かかったものかおききましたところ、予算として1,200万円位組んだのだが、事務局に動する車の費用やその他の経費がかかって、その額よりは一寸オーバーするだろうということで、1,200万~1,300万円はかかると予想されており、これはなかなか大変なものだとつくづく感じて参りました。

それから、次回の年次大会が、これはガバ

ナーが出る土地でやるのが慣例になっているようです。山形クラブの山形酸素の社長の庄司晋作さんが、来年度の即ち1970年～1971年のガバナーになることに正式に決定いたしました。

いわゆるガバナーノミニーになられたわけです。来年度は第352地区と第353地区いわゆる東北六県の地区が一つになって、来年度は山形で年次大会を行うということまで決定しておりました。当クラブとしては、山形でやられるわけですから、距離的にも近いので、是非年次大会に沢山の方々から参加していただくよう、今からおねがいしておきます。と申しますのは、大体の方は年次大会に出席された経験がおありと思いますが、未だ一回も出られない方もいらっしゃるのです、そういう方々からは是非とも参加をおねがいします。

そこで、R Iの代表とか、その他ロータリーに精通した大ベテランの方々がお話されますので、決して感銘しないということではなく、必ず感銘して帰られると思うので、そういう収穫は必ずあると思うので、是非共出席をおねがいいたします。唯大体のことはそのようなものです。

私が部門別として出たのは、世界社会奉仕部門で、私達に何が出来るかということでした。これは、カウンセラーに穴沢パストガバナー、モデレーターに張先生が出られており世界社会奉仕には私達は何が出来るかというような問題でした。こちらの考えでは、悪い言い方ですが、大人の遊びみたいな考えで、低開発国だから援助の手を指しのべた方がいいだろうくらいの調子でやりますと、政治的な配慮もありますし、国民の感情的な問題もあるのだそうです。それで「そういう点を考慮して行かないと折角の援助の手というもの、向うにとっては、やってくれなくともよいものを何でやるんだというようなことになる場合もあり、そういう配慮をなされてから行った方がいいではないか」とのことでありました。

事実として、韓国から看護婦さんが2名とか3名に、日本で最新医療で、高度の看護技術を教えるからこいと呼びかけたそうです。それで飛行機の切符まで用意して贈ったのですが、韓国からは全然くる意志がないということで未だきてないそうで、そういつたこと

で、こちらでやろうとしても、向うですんなりと向けてくれない場合があるので、非常に難しいとのことでした。

それから、これは地区としてやったことですが、小花先生が尽力されまして、この地区から印度に対し、顕微鏡や、いろんな医療機器をお贈りしたとのことですが、それも1年2年の歳月を経てやっと届いたそうです。しかし、印度政府としては、関税を20%かけるとかということで、金額として200万円から300万円のものを買ったのですが、20%の関税とすると、これは約60万円を受けた方で出さなければならぬので、切角もらっても60万円も出さなければならぬので、そういう点でも行きがちがあるとのことでした。

しかし、そういうことだから世界社会奉仕活動をやってはいけないということではなくやる場合には相当の配慮をもって行わなければ、スムーズに行かないとのことでした。やるとすれば、ガバナーの私見であるようですが、オーストラリアであればスムーズに行く、これは援助と限られたものではなく技術の交換といったもので、単に援助するということは大変なんだとのことでした。

次に、クラブ単位としてやるときは、余り大きなことは出来ない、それはどうなのかとガバナーにたずねましたら、それはクラブのレベルとして考えればいいのだとのこと、鶴岡クラブのような比較的小クラブが、東京のクラブと同じレベルで考えたら何も出来る筈がないので、そのクラブのレベルで考えて構わないのだと云われました。世界社会奉仕というのは、大きい問題で、何かとりとめのないようなものでした。

それから、パンフレットがきていますが、うちのクラブではこういう援助が出来るとか向うのクラブではこういう援助をして欲しいとかのリストが出来ているのだそうです。

昔「今日の目標」という冊子ですが、今プロジェクト、イン、インターナショナルサービスというようなパンフレットとなり、それを見ると、こういう援助が欲しいとか、こういう援助が出来るというリストだそうで、そのリストからリストアップして、R Iの中央事務局に申込めば、余り億劫でなく出来るので、中央事務局を利用して世界社会奉仕をやって欲しいとのことでした。

## 地区年次大会に出席して 安藤定助君

報告に先立ち、皆様の御鞭撻と御援助のお蔭で10年間無欠席のダイヤモンドバッヂをいただき、今日胸につけて参りました。有難うございました。今年の3月には無理をして健康を害しましたが、これを一つの教訓として健康に留意して、職業にまたロータリーに出精したいと思えます。

さて、昨日の地区年次大会の青少年部門を担当して、部門別に出席して参りました。部門別に入る前に、今度の地区大会には、私として3年振りが出たのでありますが、実はその前の地区大会が何となくマンネリ化して、友情の交換が少く、唯行事的な感がして魅力が乏しいように感じられました。今度も秋田の北端だし大したことはないだろうと、唯私の表彰もありましたし、あの地区に知友がおりましたし、しばらく不勉強しましたから、といったことで出て参りましたが、結果としては、まことに自分がそう思ったことがはずかしく思う位に立派な地区大会でありました。

僅か80人そこそこのホストクラブとコホストの人達の1,200万の予算をもって行う大地区大会でありましたが、一糸乱れず、その中にホスト乃至コホストの全員の誠意のこもった、何とかしてこの地区大会を成功させよう、簡素の中にも友情を披歴しよう、ギャップをなくしようという3つの筋がびしゃりと通り誠に気持ちのいい、そして内容の充実したその間に友情が充ちあふれた大会でありました。本当に私共10何年ロータリーに居りまして、いろいろな大会に出ましたが、今度の大会ほど気持ちよく感激した大会はございませんでした。恐らくはじめて大会に出席された方も、想像もつかない感激をお持ちになったことと思えます。

よって、これから先の地区行事も、各クラブともこういう行事の刺激を受けて、山形辺でも熱意のこもった大会をお開きになると思えますし、是非共おすすめしたいことは、古い方も新しい方も、その区別なく出席されてロータリーの感激と、ロータリーを身につけることの2つをおやりになっていただきたいと自分の感激をおおかししたい気がしました。

青少年部門は、私に言わしむれば生意気な言い分かもしれないが、あの部門別協議会は失敗だと感じてきました。ということは、モデレーターがいて、モデレーターが各クラブ

のいろんな意見とか、実例とかを引き出して皆の参考にするのが、部門別協議会の筈ですが、カウンセラーは余りにお識りになっているせいか、或は余りに教え込みたいせいか、一人で30分間もインターアクトとローターアクトの説明に終始され、あとの1時間も、兎に角インターアクトとローターアクトにテーマをしばって、そして一つの意見が出るとそれに10分も20分も自分がしゃべってしまう状態で、誰の部門別協議会かわからぬと、しかもインターアクトとローターアクトで、わかっているのは2、3クラブであって、あとはチャンピオンクラブというクラブを前にして、わかった人が滔々とインターアクトとローターアクトを論じたというような、今までになかった部門別協議会と見て参りました。

従って、出てきた問題はインターアクトとローターアクトとやるのにどう困ったとか、やってから何か困ったことがないかということにしばられてきておりました。出たのは、インターアクトを持っている福島県の二、三のクラブ位で、秋田はクラブがないので目をばちばちしているの、これではこの会議がおかしくなってしまうと考え、生意気に私が最後に立ちまして、幸に皆さんがこのクラブは青少年問題に非常に大きな活動をしておられるので、その実例をとり上げて、次のことを提案して、総まとめにしたというような形になりました。

その一つは、インターアクトは我クラブでは、西校と高専の2つをつくりました。つくるについては、非常な困難がある。一つはクラブがインターアクトをどう理解するかということ、一つには学校の先生方にロータリーをどう理解させて、更にインターアクトをどう理解させるかと、それから生徒達にインターアクトはどうなのか、ロータリーは何かということを一応予備的に理解させるのが一つの手段である。それから、教育委員会などもその通りであると。その順序も踏まずに唯わかったロータリアンが、インターアクトを学校に押しつけても失敗に終ると。もう一つは、学校は学校なりの文部省から県教委を通じた一つのルールがある。それを知らずにこちらから、インターアクトをいいことだいいことだと押しつけても大変な問題がおこると、この二つのこと気をつけて行く方法があり、これは私のクラブの例ですか高専の場合

で校長先生も、学生主事もロータリーアンであり、しかも校長先生が自ら学校に導入したいという熱意で、原文までとって自ら勉強なされ、十分に学校内にその基本を普及されてそして校長先生が陣頭に立っておやりになった。これは強引に押しして成功された途である。その2つを申し上げました。

それから、ローターアクトについては、我々もチンプンカンプンで、これから勉強して行かねばならぬと。しかし、これも高専で校長先生が非常な熱意をもっておられるので、青少年委員会インターアクト委員会が、中心となって、ご援助申し上げてやって行きたい。ただここにインターアクトとローターアクトについて当初からカウンセラーの大変強いご発言があったけれども、これはどうもおかしいと。ここにおられる多数のクラブ員はその殆んどがチンプンカンプンで、わかっておられるのはガバナーだけだと、それをいいことだからやれといわれて、それではどうするのですかときくと、それは文献事務所に文献があるからそれをとってしらべよと。それではあまり無責任ではないでしょうか。いわゆる地区としてインターアクト、ローターアクトを普及する態勢が整っていないでないかと。もう少しそのところに地区としてお考えになる必要はなからうかと。

そうでないと、前のワンダーフォケルのような大きな失敗に導く場合もあるかもしれないというような、大変卒直な意見を出しました。それから、どういう風にして青少年のグループをつくるかということは、現在各クラブの地域の中には、ボーイスカウト、ガールスカウト、或は海洋少年団、或はスポーツ少年団、或は近年大変いいことには、各高校あたりにボランティア活動をし出したグループが年々ふえており、これに手を差しのべることがいいことではないでしょうか、新しいことをやることよりも、現在伸びつつある、そしてそれらを小さい力で何とかその芽をのばそうとして、いろんな隘路にぶつかり苦しんでいる善良なグループがあると、これに地域社会の我々ロータリーアンが手を貸して上げるといことが、一番近道の青少年グループづくりでなからうかと。

それについて、ボーイスカウトのつくり方とか、うちでやっているボランティアグループの横の連絡をとってあげるとかの例を話し

大変な共鳴を受けまして、あとでモデレーターの下田与吉さんが、今日の部門別は鶴岡クラブにすっかりまとめていただいて有難うと御礼の言葉をいただいて次第であります。

### 幹事報告

- 会報到着 米沢西RC、石巻東RC、八戸RC、鹿児島RC、郡山RC、秋田RC、米沢RC
- チャーターナイト案内  
登別RC 19% 於登別温泉 ¥5,000 9%0/100切  
広島西RC 11/1 於東洋工業スポーツセンター ¥4,000 9%0/100切  
草津RC 11/1 於草津市民会館 ¥4,000 9%25/100切  
京都乙訓RC } 3クラブ合同 11/22  
 亀岡RC } 京都グランドホテル  
 京都市陽RC } ¥4,000 19%20/100切
- 1971年版ロータリーダイアリー予約注文 ¥600 19%10/100切
- パナー交換 大館クラブ (於大館)